中学歴史プリント（過去問類似）
鎌倉時代

名前 ____________

得 点　／8

問1　承久の乱（1221年）の後、鎌倉幕府が西日本を中心に地頭を新しく任命した目的と、その後の変化について述べた文として正しいものはどれですか。（2015年　岡山公立入試　類似）

1. 上皇側に加わった貴族などの領地を没収し、幕府の支配力を西日本まで広げるため、新補地頭を置いた。

2. モンゴルの襲来に備えて、九州沿岸の警備を強化するために有力な御家人を地頭に任命した。

3. 借金に苦しむ御家人を救済するために徳政令を発布し、地頭に土地の返還を命じた。

4. 守護の権限を弱めるために、各地の地頭に徴収した年貢を直接幕府へ納めさせる制度を整えた。

問2　当時の戦いの様子を描いた記録では、元軍が日本軍に対して使用した、当時の日本にはなかった新しい兵器が描かれている。この兵器の特徴について述べた文として正しいものはどれか。（2024年　和歌山公立入試　類似）

1. 「てつはう」と呼ばれ、火薬を用いて爆発時の音や光で敵や馬を驚かせる武器。

2. 「石弓」と呼ばれ、日本の弓よりもはるかに遠い距離から正確に狙撃できる武器。

3. 「長槍」と呼ばれ、密集した隊列を組んで騎馬武者の突進を阻止するための長い武器。

4. 「連弩」と呼ばれ、一度に何十本もの矢を連続して放つことができる機械式の武器。

問3　鎌倉時代において、幕府が中国（宋）から僧を招くなどして奨励した禅宗が、当時の有力な武士たちに受け入れられた理由として最も適切な説明を選びなさい。（2026年　長野公立入試　類似）

1. 念仏を唱えるだけで救われるという平易な教えが、忙しい武士の生活に合っていたため。

2. 座禅による厳しい精神修養が、自己を律し生死に向き合う武士の生き方に適していたため。

3. 法華経の教えを広めることで、蒙古襲来などの国難を退けることができると考えたため。

4. 一向一揆などの強力な組織力を持つことで、幕府の軍事力を補強しようとしたため。

問4　鎌倉時代、源頼朝が全国に設置した「守護」と「地頭」の役割について、正しい説明はどれか。（2019年　福岡県公立入試　類似）

1. 守護は国ごとに置かれて軍事・警察を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収などを行った。

2. 守護は年貢の徴収や土地の管理を専門に行い、地頭は幕府の最高評議機関として政治の指針を決定した。

3. 守護は海外との貿易を管理するために港に置かれ、地頭は全国の戸籍を作成するために村ごとに置かれた。

4. 守護は江戸幕府が藩を監視するために設置し、地頭はキリスト教の取り締まりを主な任務とした。

問5　禅宗は、念仏や祈祷よりも「自分自身を見つめ、精神を鍛える」ことを重視しました。この宗教が当時の武士に広く受け入れられた理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年　福島公立入試　類似）

1. 念仏を唱えるだけで救われるという簡潔な教えが、多忙な武士の生活に適していたから。

2. 厳しい修行を通じて自己の精神を律する姿勢が、生死をかけて戦う武士の気風に合っていたから。

3. 現世での利益や病気平癒を祈る呪術的な側面が、戦場での加護を求める武士に好まれたから。

4. 華やかな建築や美術を重視する教えが、新興勢力である武士の権威を高めるのに有効だったから。

問6　1297年に出された法令の要約資料によると、御家人の生活困窮を理由に「領地の質入れや売買を禁止する」という内容や、「すでに売却された土地についても買い戻しを認める」という内容が記されています。このような命令が社会に与えた影響として、最も適切なものはどれですか。（2025年　鹿児島公立入試　類似）

1. 借金が帳消しになることを恐れた金貸し（借上）が、御家人への融資を拒むようになり、かえって御家人の生活が苦しくなった。

2. 土地の売買が活発になったことで、新興の商人が成長し、幕府の財政が大きく潤うことになった。

3. 武士独自の裁判基準が明確になったことで、御家人同士の土地争いが劇的に減少した。

4. 朝廷と幕府の関係が改善し、全国の武士が再び幕府の下に強く結束するようになった。

問7　鎌倉幕府の御家人は、将軍から受けた恩恵に対し、一朝事あるときには「いざ鎌倉」と駆けつけて軍役を果たすなどの奉公の義務を負っていました。このような御家人たちを軍事的に統制し、管理・監督するために設置された組織はどれですか。（2021年　熊本県公立入試　類似）

1. 侍所

2. 政所

3. 問注所

4. 評定衆

問8　鎌倉幕府の組織図において、執権の管理下に置かれ、侍所・政所・問注所といった中央機関と並んで重要視された地方機関があります。この機関の名称と、その設置の契機となった出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年　香川公立入試　類似）

1. 名称：六波羅探題、出来事：承久の乱

2. 名称：鎮西探題、出来事：元寇（文永の役・弘安の役）

3. 名称：京都所司代、出来事：関ヶ原の戦い

4. 名称：鎌倉府、出来事：室町幕府の成立

答え合わせ・解説

問1	**答え 1** **上皇側に加わった貴族などの領地を没収し、幕府の支配力を西日本まで広げるため、新補地頭を置いた。**	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、後鳥羽上皇側に味方した貴族や武士の領地を没収しました。そこに新しく地頭（新補地頭）を任命して送り込むことで、それまで影響力が弱かった西日本においても、幕府による土地支配と武士の統制を大幅に強化することに成功しました。
問2	**答え 1** **「てつはう」と呼ばれ、火薬を用いて爆発時の音や光で敵や馬を驚かせる武器。**	元軍は「てつはう」という、陶器などの容器の中に火薬を詰めた兵器を使用していました。これは爆発した際に激しい音と光を放つため、これを見たことがなかった日本の武士たちは驚き、特に爆音にパニックを起こした馬が制御不能になるなど、心理的・戦術的に大きな混乱をもたらしました。
問3	**答え 2** **座禅による厳しい精神修養が、自己を律し生死に向き合う武士の生き方に適していたため。**	禅宗は座禅によって自分の力（自力）で悟りを開くことを説きます。この自分自身を厳しく律する修行のあり方が、戦場での精神的な強さを求めていた武士階級の道徳観や価値観と深く結びつきました。鎌倉幕府の執権である北条時頼や北条時宗は、中国から蘭渓道隆や無学祖元といった高僧を招き、建長寺や円覚寺を建立して禅宗の普及を後押ししました。
問4	**答え 1** **守護は国ごとに置かれて軍事・警察を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収などを行った。**	鎌倉幕府の成立過程において、源頼朝は朝廷から守護・地頭の設置を認められました。守護は令制国（国）単位で設置され、国内の御家人の統制や軍事・警察的な役割を担いました。一方、地頭はより細かな単位である荘園や公領に配置され、土地の管理や年貢の取り立てといった実務を担いました。これにより、武士による支配が全国へと広がっていくことになりました。
問5	**答え 2** **厳しい修行を通じて自己の精神を律する姿勢が、生死をかけて戦う武士の気風に合っていたから。**	禅宗は座禅によって自らの力で悟りを開こうとする「自力」の教えです。このストイックな修行形態や自己を律する精神性が、武芸の鍛錬や戦場での死生観と結びつき、北条氏をはじめとする多くの武士から支持されました。これが後の武士道精神の形成にも影響を与えています。
問6	**答え 1** **借金が帳消しになることを恐れた金貸し（借上）が、御家人への融資を拒むようになり、かえって御家人の生活が苦しくなった。**	幕府は御家人の救済を意図して徳政令を出しましたが、貸したお金が戻らなくなることを恐れた借上（金融業者）が御家人への融資をストップさせたため、経済が混乱しました。これにより御家人の生活はさらに困窮し、幕府に対する不信感が高まる結果となりました。
問7	**答え 1** **侍所**	鎌倉幕府において、軍事と御家人の統制を専門的に担った組織が侍所です。御家人は将軍から所領の支配を認められるなどの「御恩」を受ける代わりに、軍役や番役といった「奉公」の義務を負っていました。この主従関係を基盤とした政治制度を支えるため、侍所は非常に重要な役割を果たしました。なお、政所は一般政務や財政、問注所は裁判をそれぞれ担当していました。
問8	**答え 1** **名称：六波羅探題、出来事：承久の乱**	六波羅探題は、鎌倉幕府の職制において執権（北条氏が世襲した役職）の下に置かれた非常に重要な地方機関です。1221年の承久の乱に勝利した結果、それまで上皇の勢力下にあった西国の支配権を幕府が握ることになり、その統治のために設置されました。鎮西探題は九州の防衛、京都所司代は江戸幕府の機関、鎌倉府は室町幕府の機関である点に注意してください。